

関東アコーディオン演奏交流会 No. 7

実行委員会ニュース

2009.10. 6 発行

ニュース担当者

乙津. 笠原. 小神

ホームページ <http://www.kanto-acco.jp>

＝学びあうためのコンクール＝

第 21 回関東アコーディオン演奏交流会を終えて

《はじめに》

＝学びあうためのコンクール＝、「第 21 回・関東アコーディオン演奏交流会」に参加して下さった出演者の皆様ありがとうございました。お手伝いをいただいたスタッフの皆様大変ご苦労様でした。審査並びに講評まで長時間に亘り務めて下さった審査員の先生方、また、聴きにいられた方、広告をくださった方々など日ごろよりお力添えいただいている皆様本当にありがとうございました。この場をお借りして改めて御礼申し上げます。

《感想》

今年の特徴は、《ジュニアの部》が 2 名、《初心者部 B》が 3 名と少なかったこと、また、初めての参加者が 20 名近くいたこと、採点、順位付けを希望しない方が 8 名ほどいたこと、などが上げられます。数日前の指の怪我が治らないため当日欠場した方を除くと全体でも 59 名と例年に比べて少なかったのは、残念な結果でした。

そんな中でも、ジュニアの部に和歌山県から中学生が参加されたり、上級の分では音大出とは見え独学で素晴らしい演奏をされた方など、今後へつながる新たな広がりも見られたことは嬉しい一面でした。

□今年の様子を審査員の講評や感想の中から 2～3 紹介します。詳しくは後日審査委員会より結果の発表並びに講評が出されますので、その際に紹介いたします。

- ① 年々高齢化していくので意識的に若い方へ声を掛けていくことをみんなの問題としていきたい。
- ② それぞれ曲の聞かせどころ、アレンジャー（編曲者）の意図があるのでそれを見抜いてもうちょっと出せると雰囲気が出るし説得力が出るのになぁと思いました。
- ③ 中級の部では、レベルと言うよりも一人ひとりの個性と言うか持ち味が出るようになってきていて聴いていて楽しいですね、ミスすることはどうしてもあるんですけど、弾き方とかベローの使い方に出ていてそれが良かったと思います。
- ④ 今回感じたのは、まず、姿勢が良くなった点です。もう一つ少なくなってきたのは弾き直しです。コンクールではその曲を愛して最後まで弾き通してあげることはすごく大事なことです。本番近くなったら是非弾き通す練習をしてください。